

## 分科会 ②

# 地域における学びあいを地域でつなごう

みらいを創造・育むための  
地域づくりと社会教育と福祉教育

### ○分科会詳細

社会教育と福祉教育との協働により、人間力を育む取り組みを多世代へ広げていくことへの期待や暮らしへの影響などを事例を通じ紐解いていきます。これからのまちづくりへの学びとは何かを発信します。



向井 健

(むかい けん)

○所属 松本大学 総合経営学部  
観光ホスピタリティ学科 准教授

○略歴 社会教育学, 地域福祉論  
(キーワード: 地域住民の学習実践や地域に基盤を置いた自立支援実践の分析、社会的排除、コミュニティ・エンパワーメント、成人学習論(活動理論など))

○書籍等

・社会教育・生涯学習論: すべての人が「学ぶ」ために必要なこと 111-122頁 (共著) 2018/09

・自治が育つ学びと協働 南信州・阿智村  
159-164頁 (共著) 2018/02

など



小池玲子

(こいけ れいこ)

○所属

長野県社会教育委員連絡協議会 会長  
諏訪市外部評価委員会 会長  
諏訪市行政改革推進委員会 職務代理  
諏訪防災ネットワーク 会長  
諏訪市立四賀小学校 コミュニティスクール運営  
委員会 コーディネーター 等

○略歴

平成12年児童育成団体「しがっ子クラブ」を立ち上げ20年間事務局としての活動の中で長野県子育て支援員、応急手当普及員の資格を修得。平成16年より市社会教育委員に子育て支援関係者として任命される。また、諏訪市ボランティア・市民活動センター運営委員として参画。主に防災を担当。被災地でのボランティア経験から諏訪市防災委員となり、防災士の資格修得、長野県自主防災アドバイザーとして市内公民会等で防災講演会を開催。令和2年諏訪防災ネットワークを立ち上げる。



降旗都子

(ふりはたみやこ)

○所属

第三地区まちづくり協議会 副会長  
松本市第三地区公民館報編集長  
地域づくり市民委員会委員長  
公民館運営審議会委員

○略歴

2004年から松本市第三地区の公民館報編集委員として活動、現在は委員長を務める。地区内にあったショッピングモールカタクラモール再開発に際して、まちの歴史を大切に、地元意見を取り入れた開発を業者に要望。行政・民間企業・地域住民の三者の話し合いを経てイオンモール松本が完成した。この際、第三地区まちづくり協議会が設立され現在も副会長を務めるとともに、まちの歴史を子どもたちに伝える活動や子ども食堂などの活動に取り組む。2018年3月まで保育士。現在はブドウ農家。





なおやマン

(島崎直也)

○所属

sakumo佐久市子ども未来館 館長

こどもヘンテコまほうラボ 所長

佐久大学信州短期大学部福祉学科子ども福祉専攻  
非常勤講師

○略歴

東京都出身。学習院大学理学部化学科卒業後、東京ガス(株)環境エネルギー館インタープリター(教育プログラムの企画実施)を経て、2004年にケミカルエンターテインメントを設立。全国各地で、「毎日の当たり前をワクワクに」する、こども向けのステージショーやワークショップを展開中。教育施設スタッフや教職員の研修、教育施設の竣工事業(環境省 全国地球温暖化防止活動推進センターストップおんだん館、東京ガスがすてなーに など)なども行っている。



橋本 昭弘

(はしもとあきひろ)

○所属

まちの縁側育みプロジェクトながの 佐久支部

○略歴

1 尚綱学院大学大学院 人間学専攻(共生社会)で「シニアの学び」

について研究中

2 佐久市高齢者福祉課と長野県長寿社会開発センター佐久支部と連

携して岩村田・東地域包括支援センター、佐久平・浅間地域包括支

援センターの協力のもと岩村田地域と長土呂地域の縁側講座の企画・運営・実施を支援してきました。講座後、報告会を開催し住民主体の活動を中心とした支え合いの地域づくりをめざします。

3 佐久市子ども未来館とシニア大学卒業生の協力のもとワクワク子

どもフェスタを開催

4 行政と連携しながら各種講座の講師



【分科会2】

# 「地域における学び合いを 地域でつなごう」

長野県社会教育委員連絡協議会 会長 小池 玲子

こんにちは 小池 玲子 です

ちよつとだけ 自己紹介

始まりは新学習指導要領(平成10年)

キーワード 「生きる力」 ⇒ 「生き抜く力」(現在)

- 平成12年児童育成団体「しがっ子クラブ」を立ち上げ  
20年間事務局として活動。

「しがっ子クラブ」

地域の大人たちが手を携えて、自分の住む地域に誇りと  
愛着を持ち、地域に根ざした子どもの育成を目指して活動。



- しがっ子クラブ活動の為に長野県子育て支援員、  
応急手当普及員の資格を修得。
- 平成16年より諏訪市社会教育委員に子育て支援関係者として  
任命される。22年より議長。  
25年より長野県社会教育委員連絡協議会理事、  
27年より会長、現在に至る。

- 諏訪市ボランティア・市民活動センター運営委員として参画。  
主に防災を担当。被災地でのボランティア経験から  
諏訪市防災委員となり、防災士の資格修得、  
長野県自主防災アドバイザーとして市内公民会等で防災講座  
等を開催。
- 令和2年諏訪防災ネットワークを立ち上げる。

## 役目

### 諏訪市

- ・ 外部評価委員会 会長
- ・ 行政改革推進委員会 職務代理
- ・ 民生委員推薦委員会 職務代理
- ・ 諏訪市防災会議 委員
- ・ 諏訪市消防委員会 委員
- ・ 四賀小学校 CS運営委員会 コーディネーター
- ・ 諏訪中学校CS運営委員会 他

### 長野県

- ・ 長野県社会教育委員会 委員
- ・ 長野県生涯学習審議会 委員 他

# 社会教育委員の職務



社会教育法では次のように職務について規定されています。

社会教育委員は、社会教育に関する**諸計画を立案**します。

教育委員会の**諮問**に応じ、**意見**を述べます。

また、教育委員会の会議に出席して社会教育に関する**意見を述べる**ことができます。意見を述べるために**研究調査**を行います。

**社会教育委員は住民の声を行政へつなぐ橋渡し役**

私の中での「社会教育」は

社会・地域の中での学び

社会・地域を知る学び

社会・地域の人々をつながる学び

社会・地域を担う学び

学びを社会・地域に活かす学び

## 私の社会教育

- \* 人を愛しみ、ときには、支えあい、より添いあい  
思いやりながら、**共に皆で生きて行こう**  
という心を育む**人づくり**
- \* 課題解決のために労や知恵や資源等を持ち寄る  
連携・協働のできる**つながりづくり**
- \* ここで育って良かった　ここで子育てできて良かった  
ここで暮らして良かったとそう思える**地域づくり**

## 心を育む学び 福祉教育

社会教育は「**共に生きて行こう**」という心を育む教育と説明しています。

私たちがこうありたいと願う**地域・社会**はどのような地域、社会なのでしょうか？

誰にとっても心穏やかに豊かな生涯を送れる**地域・社会**にしていくための

**学びや提案や活動**のヒントは

**地域と多様な人々**にあるのでは。



大切にしている言葉

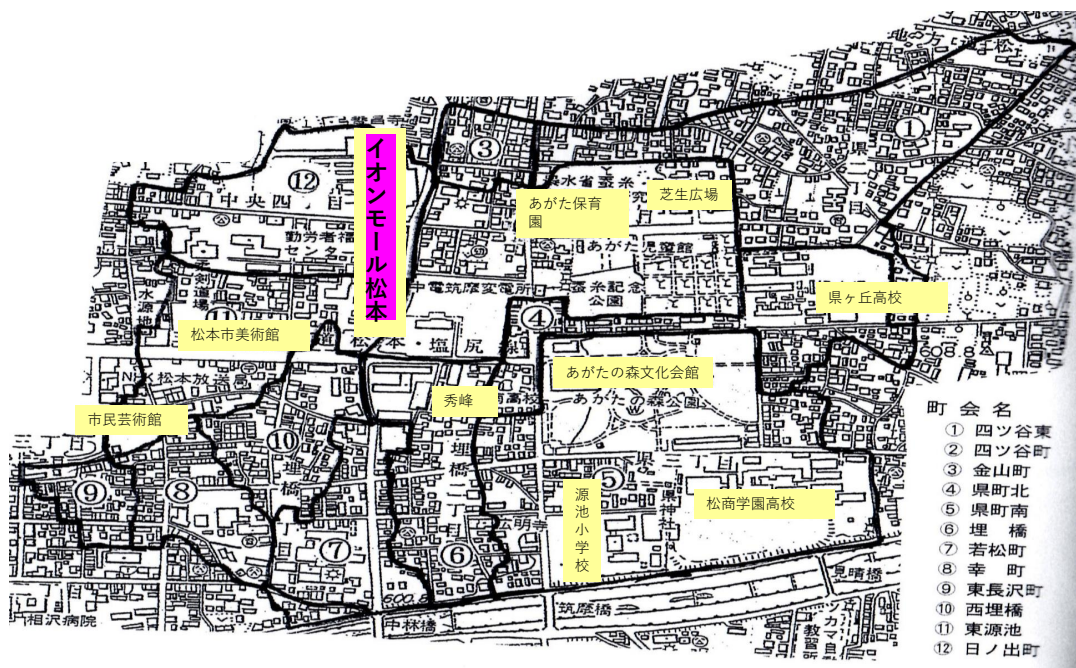
「志高く 大きな心で 人のために」

諏訪市立四賀小学校 学校教育目標

# 公民館での学びから始まった まちづくり

松本市第三地区まちづくり協議会  
副会長 降旗 都子

## 第三地区の地図





## 学び①

2004年松本市公民館報の第三地区版編集委員になる。  
すべてはここから始まった

- 地区の情報を伝える公民館報を編集することで地域の事を知ることが出来た。
- 地域の課題もわかってきた。



## 2011年カタクラモール再開発問題



## 学び②

まちづくり講座を  
公民館主事と一緒に  
企画、開催する

平成24年(2012) 6月～11月  
6回講座  
平成25年(2013) 6月～11月  
7回講座  
平成26年(2014) 10月～翌年1月  
6回講座



## 製糸業で発展した地域の歴史について学ぶ

カタクラモールのある場所及び第三地区は  
松本の近代産業発展の中心地だったことを知る



片倉工業の松本工場長で、  
松本市商工会議所初代会頭  
今井五介

### 今井五介の実績

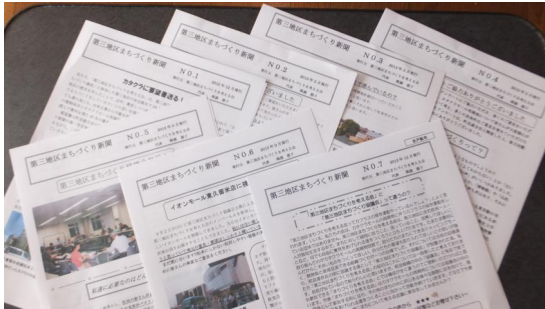
- 日本の絹糸の品質を世界一にして
- 片倉製糸紡績(株)を発展させた
- 日本銀行松本支店誘致
- 信濃鉄道(株)(現在の大糸線)
- 中央電気(現在の中部電力)
- 松商学園高等学校の立て直し
- 松南高校 (女工さんの為の学校)を作る



# 「第三地区まちづくりを考える会」を発足 活動を始める

まちづくり新聞を発行  
地区内に全戸配布

まちづくり新聞では住民の意見・要望などを自由に書けるようにして公民館のまちづくりポストに入れてもらうようにした



第三地区まちづくりを考える会では、地区内のリアルタイムな情報を住民の皆さんにお届けし、住民の皆さんから率直な意見をいただき、まちづくりに生かしていきたいと考えております。今回、新型コロナウイルスの関係で困っている方や、不安を抱えている方など多くいらっしゃると思います。公民館や地域づくりセンターは地域をつなぐ要です。気軽に誰もが立ち寄り話せる場です。皆が住みやすいまちにするためにも、ちょっと困っている程度のことでも構いませんので何かありましたら公民館のまちづくりポストをご利用ください。また、取り上げてほしい地域の話題などもございましたら是非ご連絡ください。ご意見・ご要望・ご相談のある方は、下記の用紙にお書きいただき、公民館入り口に設置してある「まちづくりポスト」に入れてください。まちづくりを考える会から直接返答が必要な場合は、連絡先を書いていただければこちらからご連絡します。メールの方は [daisanmachizukuri@yahoo.co.jp](mailto:daisanmachizukuri@yahoo.co.jp) にお寄せ下さい。第三地区公民館 Fax 35-6344

-----切り取り線-----

第三地区のまちづくりに対しての意見、今、困っていること、不安に思っていること、などお書きください。

.....

.....

.....

参考のため、あてはまるものに○をして下さい。 町会名 \_\_\_\_\_ 性別 (男 女)  
(小学生 中学生 高校生 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代以上)

差し支えなければお名前と連絡先をご記入下さい。 \_\_\_\_\_



再開発を手掛ける片倉工業(株)に要望書を送る

## 学びがつながりを生み、広がっていく

### カタクラモール再開発に関する 住民アンケートを実施

☆公民館に町会連合会との橋渡しをしていただくことで、第三地区内全戸配布、回収。

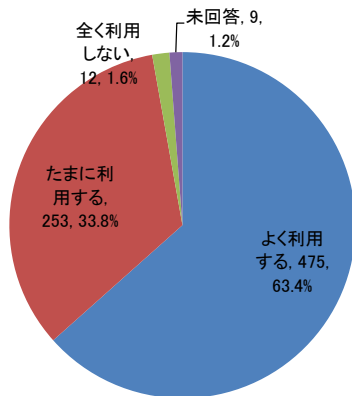
約1700世帯に配布。約40%の回収率

☆10代から80代以上まで幅広い年齢層から声を拾うことができた。

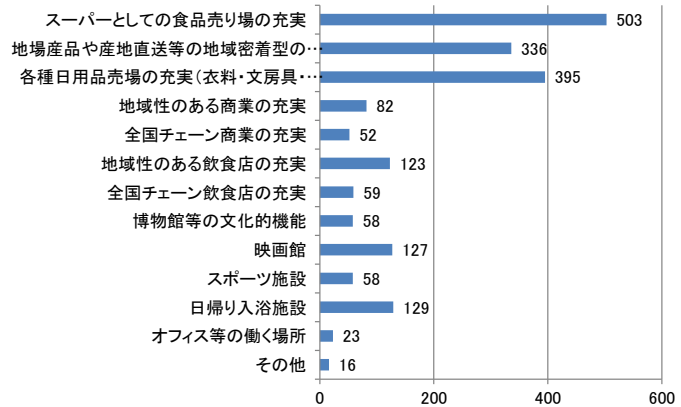
☆その他の部分に沢山の書き込みがあり、第三地区住民がいかに色々な思いを持っていて関心が高いのか知ることができた。

# カタクラモール再開発に関する 住民アンケート結果

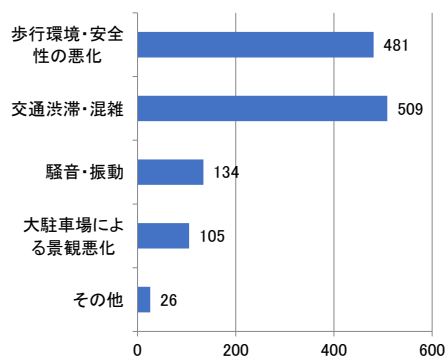
現在、カタクラモールをどの  
くらい利用していますか？



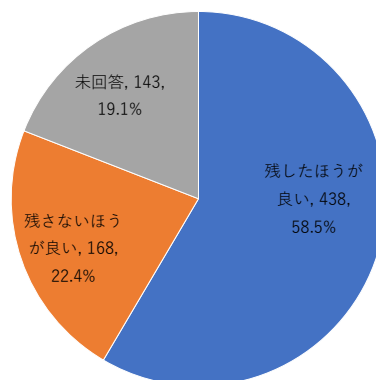
子や孫世代に引き継ぎたい第三地区や松本のまちづくりのために、再開発において必要な内容だと感じていることは何ですか？該当するものに3つまで○をしてください。



開発の影響で交通に関して気  
になることは何ですか？（周  
辺道路について松本市は現計  
画において拡幅する予定はな  
いとされています）気になる  
ことにいくつでも○をしてく  
ださい。



昭和初期の建築物であるカフラス  
や生物科学研究所は松本市にと  
っても歴史的な重要性が強く、景観  
的な魅力も含め、松本らしい再開発  
のために活用を望む声が多くな  
っています。どう思いますか？



## 学びがまちづくりにつながった

平成25年(2013)7月 まちづくり協議会発足

住民の意見・要望をもとに第三地区として協議をする体制が確立された。

☆イオンモール(株)・片倉工業(株)に直接町会連合会として要望書を送り、直接協議ができるようになった。

☆行政とも直接協議ができるようになった。

☆実際にイオンモール東久留米店に視察に行く。(イオンモール担当者が当日対応して下さり、色々な説明も受けることができた。)



住民の声を活かしたイオンモール松本オープン

松本を知ってもらう事で生まれたイメージ



松本城と蔵造りのなまこ壁、松本手毬をイメージしたデザイン

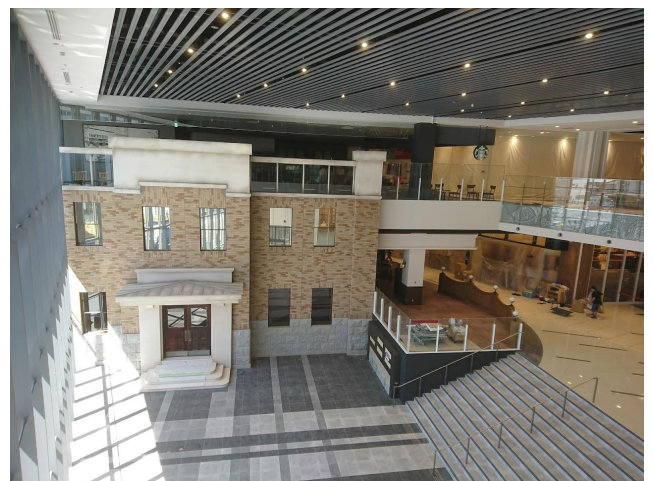


## イオンモール・第三地区・行政が連携して交通について協議

- ・ 歩者分離の信号機を設置
- ・ 駐車場の引き込み車線を拡幅
- ・ 歩道の確保



昭和初期の片倉製糸場の建物カフラスは？



レプリカのようにデザインとして残し、  
歴史を伝える碑文を設置

# 生物科学研究所の事務所棟



一度は残してもらったが、一年後に解体  
現在はイオンシネマのエスカレーター横  
にレプリカが残っている

## 学び③

次世代の子どもたちに地域を知ってもらう取り組み

地区の歴史を伝えて残していくにはどうすれば良いか？



2018年地域学習に使ってもらえる  
歴史冊子を作った。  
子どもも分かりやすいようにヤボンス  
キーこばやし画伯にイラストをお願い  
し漫画にした。

2021年松本工業高校の生徒がアニメ化に取  
り組み、アニメ化され松本市公式YouTubeで配  
信されている。



▲『お蛋さまから生まれた街』アニメーションの  
YouTube 動画





## イオンモール松本で制作発表会を開催

片倉松本製糸場の事務所棟をデザインしたイオンモール松本のきらめきコートで完成披露会をしました。

### 学び④

学校との連携、子どもたちとのまち歩き

子ども達がまちを知る機会が増える  
 →自分が住むまちの魅力に気づく

まち歩きに参加した小中学校の先生たちが、まちの歴史に興味を持ったことで子ども達の授業に繋がった。



源池小学校 6年生のまち歩き



清水中学校 1年生全員が毎年まち歩きをしている



# 清水中学校の探求学習に参加

## 一年生

第三地区住民と一緒にまち歩きをして地区の歴史を知る。

## 二年生

自分たちで松本の調べたいテーマを決めてフィールドワークに出る。その際に調べるテーマに合った人と繋ぐお手伝いをした。

自分たちで調べたテーマについてプレゼンテーションをした。

## 三年生

小布施町に修学旅行に行き、松本のまちをアピールしてきた。

松本の課題を見つけ、提言書を作成した。

子どもたちからは、松本のまちの魅力に気づき、「松本のまちっていいよね」という声が多く聞かれた。地域を愛する子どもが増えることは喜ばしい事だと思った。

## 地域で学び・つながり・考える

- 自分の住む地域の課題を考える機会になる。
- 行政、民間企業等の組織を超えて人のつながりを生み、次世代を担う子どもたちを地域で育てる機会となる。
- 地域にとって力となる人材を発掘する機会となり、住みやすいまちをつくるきっかけとなる。
- 子ども達が地域の事を学ぶことで、地元愛が強くなり、次世代のまちを担う人材が育つ。

## 【分科会 2】 資 料

○ なおやマン

○ 所属

sakumo 佐久市子ども未来館 館長

こどもヘンテコまほうラボ 所長

佐久大学信州短期大学部福祉学科子ども福祉専攻 非常勤講師

地域で多世代が学びあうために、  
「自分達の地域を自分達の視点で編集し、発信する」ことが  
大事だと感じています。  
こども達が、こども達の視点で、地域のことを発信すること  
で、地域の大人達が、  
こども達から学ぶ ことが大切だと思います。



当日、紹介する活動事例

### 【こども達の視点で地域を発信する】

- ・こどもミュージアムガイドブック
- ・100年後のミュージアムづくり

### 【高校生や大学生が力を発揮する】

- ・岩村田高校美術班 sakumo 佐久市子ども未来館 道路案内看板製作
- ・石好き高校生 田代くんの、鉱物展示とバスツアー
- ・共感覚を持つ高校生 原口くんによるロケット打ち上げの音の絵を展示
- ・虫好き大学生 佐藤くんによる生きもの写真バスツアー

### 【地域の人達の手でこども達を育む】

- ・シニアによる、こどもワクワクフェスタ
- ・地域の人達が出展 ワークショップフェスティバル in 佐久

## 2019 こどもわくわくフェスタ実施報告書

- 日時 令和元年8月6日(火)、7日(水) 午前10時～12時 午後2時～4時
- 会場 佐久市子ども未来館 科学体験工房(佐久市岩村田 1931-1)
- 参加グループ (11グループ 50名)

グループ名	所 属	実 施 内 容	参加 人数	参加状況			
				6日 午前	6日 午後	7日 午前	7日 午後
ハンドくらぶ	賛	ストラップ作り	9名	○	○	○	○
ハンドメイド友の会	賛	じゅず玉ネックレス作り	7名	○	○	○	○
昔遊びの会	シ	お手玉と昔遊び	3名	○	○	○	○
実践塾クラブ 23	賛	折り紙	7名			○	○
和踊会	賛	盆踊りを踊ってみよう!	6名			○	
おもちゃなおし隊こもろ	小	創作おもちゃ	3名	○	○		
佐久草笛会	シ	草笛をふいてみよう!	1名	○	○	○	○
中山道かるたの会	シ	カルタを楽しもう!	5名	○	○		
糸華会	賛	フェルトを使ったバックづくり	4名			○	○
障がい者支援課	行	ポッチャを楽しもう!	2名	○	○	○	○
佐久商工会議所	行	電気自動車試乗体験	3名			○	○

賛:賛助会グループ シ:シニア大学生 OB 小:小諸ボラセン 行:行政機関

- 参加者数(延べ人数)

グループ名	実 施 内 容	参加者数子ども(名)				参加者数大人(名)			
		6日 午前	6日 午後	7日 午前	7日 午後	6日 午前	6日 午後	7日 午前	7日 午後
ハンドくらぶ	ストラップ作り	28	22	20	20	25	17	13	22
ハンドメイド友の会	じゅず玉ネックレス作り	15	14	26	27	10	18	10	17
昔遊びの会	お手玉と昔遊び	18	35	28	27	13	14	16	19
実践塾クラブ 23	折り紙			19	14			17	8
和踊会	盆踊りを踊ってみよう!			5				10	
おもちゃなおし隊こもろ	創作おもちゃ	14	30			7	8		
佐久草笛会	草笛をふいてみよう!	8	14	11	10	2	10	11	6
中山道かるたの会	カルタを楽しもう!	29	33			15	16		
糸華会	フェルトのバックづくり			15	14			6	5
県障がい者支援課	ポッチャを楽しもう!	25	30	25	20	16	16	10	10
佐久商工会議所	電気自動車試乗体験			15	15			8	7
		137	178	164	148	88	99	101	94
		627				382			

**2日間通じて 子ども 627名 大人 382名 総計 1009名**



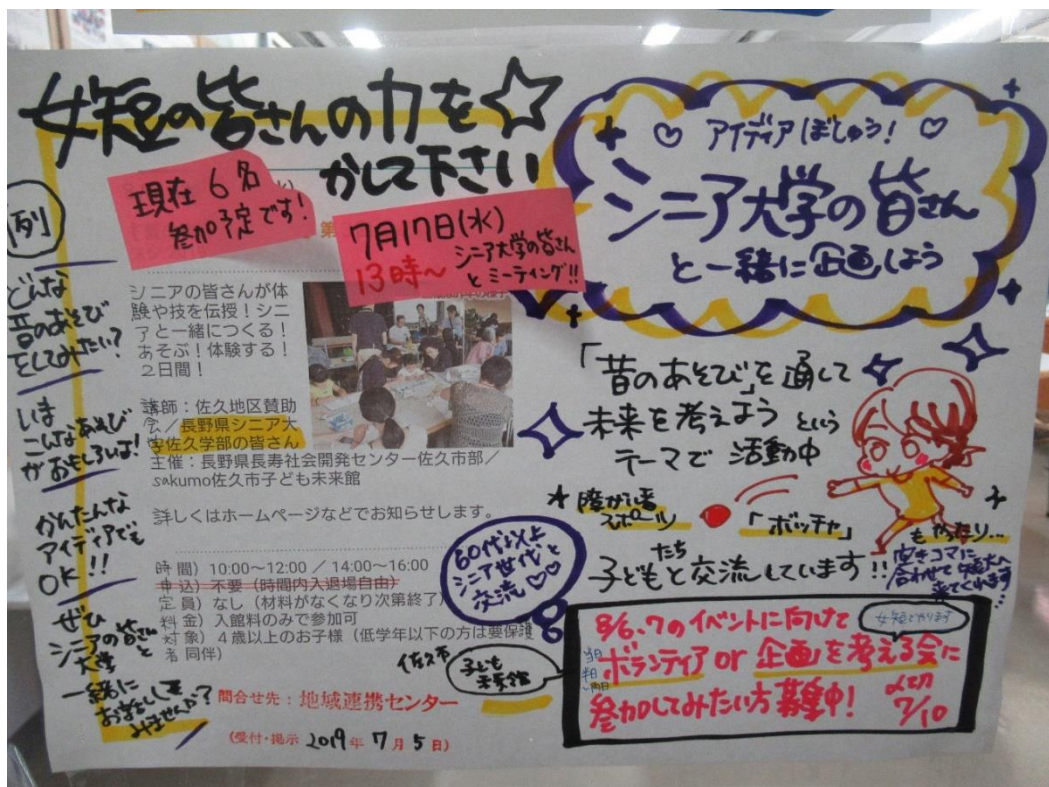
□ 上田女子短期大学とシニア大学2学年（0B）との意見交換会

こどもわくわくフェスタに向けて大北支部 遠藤コーディネーターの協力で上田女子短期大学幼児教育学科の女子学生とシニア大2学年「どんぐりくらぶ」との昔遊びを通じて未来を考えるとというテーマでアイデア出しの交流会を実施しました。

- 1 日 時 令和元年7月17日（水）午後1時～午後2時
- 2 場 所 上田女子短期大学地域連携センター事務室
- 3 参加者 上田女子短期大学幼児教育学科 2年生 5名  
（上田女子短期大学 地域連携センター 畠山 奈緒さん）  
長野県シニア大学佐久学部「どんぐりくらぶ」、佐久学部 0B 5名
- 4 内 容 こどもわくわくフェスタのテーマである「昔の生活や遊びを通して未来を考える」をベースにして、特に、昔遊びという観点で保育実習等で子ども達のかかわりが深くそして若い感覚を持った女子学生と交流することを通じて昔遊びに新たな要素を加えて、もっと子供たちをわくわくさせたいという思いから実施しました。

女子学生からは

- ・子ども達に興味を持ってもらうために人気キャラクターのお手玉、大きなお手玉に！
- ・お手玉を的に投げて競うのも面白い。
- ・笹船をつくって浮かべる。（身近にある植物や廃材を使ってみたら）
- ・マラカスを作って一緒に楽しむ。（廃材利用）
- ・広告紙などを切り抜いてはり絵をつくる。
- ・人形劇、パネルシアターなどを子ども達が本当に喜ぶ。
- ・歌と手遊びを一緒にやると子ども達は関心を示す。 等の意見が出ていました。



学生呼びかけのチラシ（畠山さん作成）





交流会一場面



女子学生が子ども達に人気の歌と手遊びを披露



□ フェスタの状況について（写真を通じて）



ボッチャを体験するファミリー



シニア世代も体験を楽しみました。





じゅず玉ネックレスづくりに取り組む親子



ストラップづくりに取り組む親子





創作おもちゃ作りに取り組み親子



お手玉に興じる子供たち





カルタ取りに集まった子ども達



フェルトのバックづくりに取り組む親子





電気自動車試乗体験で満面の笑みのシニア世代



こんな感じで親子連れで賑わっていました。

□ 感想文から「ふりかえり」

- ・ 子ども達が楽しんでいました。
- ・ 工夫されていて良かったです。
- ・ 子ども達が集中して取り組んでいる姿が見れて良かったです。
- ・ つくりたい物が多すぎて時間が足りない！
- ・ 草笛 音が出なくて、少しくやしかったです。
- ・ 色々な体験ができてよかったです。
- ・ 遠方から来てくれた孫たちが、ほぼ毎年楽しませてもらっています。
- ・ 子ども達が、大変喜んでくれました。
- ・ とても楽しかったです。
- ・ 親切に指導してくださり素晴らしいものができました。ありがとうございます。
- ・ イベントをやっていることを知らなかったので参加できて良かったです。
- ・ 万華鏡などを考えてほしい。
- ・ 達成感がありました。
- ・ 娘と一緒につくりてよかったです。
- ・ きれいにできました！
- ・ 手作りのもので簡単にできる物を考えてほしい。
- ・ 楽しかったので、ぜひ、来年も！
- ・ とても楽しい時間を過ごさせていただきました。
- ・ 子ども達が、とても楽しそうに取り組んでいて良かったです。
- ・ 思いもよらない物ができて嬉しそうでした。
- ・ ゆっくり時間を過ごすことができました。
- ・ 家族で楽しめました！
- ・ 丁寧に教えていただき楽しくできて良かったです。
- ・ 家では教えられない綾取りをすることができて嬉しかったです。
- ・ 素敵な作品ができました。
- ・ 子どもと楽しい時間を共有させていただきました。
- ・ カゴをつくってみたい！
- ・ 夏休みの宿題ができました。
- ・ ポーチをつくってみたい！
- ・ 風鈴をつくってみたい！
- ・ 親子で一緒に取り組めて良い思い出になりました。
- ・ すごくよく回るコマをつくりたい！
- ・ とても身になる催しでした。来年も来ます！
- ・ 自分で興味をもって取り組んでくれてよかった。
- ・ ぜひ、また休みにやっていただきたい！
- ・ ブレスレットを作りたい！
- ・ こんな細かな作業ができる事に驚きでした。
- ・ 子どもには難しかった（2歳児）

- ・ 駒をつくってみたい！
- ・ ビーズを使った物を考えてほしい。
- ・ 東京から立ち寄って思いがけずで、子ども達にとってよい思い出になりました。
- ・ 地元の方々との触れ合いもあり、素敵なイベントだと思いました。
- ・ スイカのキーホルダーをつくってみたい！
- ・ 子どもでも簡単にできて、とても良かったです。
- ・ じゅず玉のブレスレットを作ってみたい！
- ・ 手軽に素敵な物がつくれて達成感も得られてよかった！
- ・ 色々なものでつくる紙飛行機を考えてほしい。
- ・ もう少し大きなキラキラしたものを考えてほしい！
- ・ 動物用の帽子をつくりたいです。
- ・ 夏を感じるストラップをつくってみたい！
- ・ 良いイベントだと思います。
- ・ 小さな子どもも楽しめて、すごく良いと思います。
- ・ 男の子向けの工作がもっとあれば良かったです。
- ・ 昨年から参加しています。来年も参加すると言っています。
- ・ 子どもが、とても楽しく物づくりをしていてうれしく思いました。
- ・ 普段、祖父母と離れて暮らしているので子どもにとって良い機会になりました。

## □ まとめ

1 こどもわくわくフェスタも4年目を迎えました。会場や開催日程、内容等、検討しながら進めようと思いましたが準備もできず従来どおりの開催になってしまいました。

その中でも、参加する子ども達とシニア世代に、もっとわくわくして欲しいと思い、以下のとおり新たな取り組みを考え実行しました。

- (1) 来年開催されるパラリンピックの正式種目になっている「ボッチャ」体験ブースを健康福祉部障がい者支援課の協力で開設しました。これは、シニア世代に気づきを持ってもらうという意図で進めました。子どもからシニア世代まで、また障害のあるなしに関係なく楽しめるスポーツです。地域活動の観点でよいツールだと思います。
 

⇒ 多くの方々の体験してもらって良かったと思っています。実際やったことのある子ども達もいて、少しずつ浸透しているのかと思いました。競技として何度も体験している親子連れもいました。簡単ですが奥は深いゲームであると思いました。
- (2) 加藤賛助会長から電気自動車の試乗体験をしたら子どもがたくさん集まるのではとの助言をうけて佐久商工会議所と連携してブースを開設しました。
 

⇒ 結果的には1日のみの試乗体験（実質的には半日）になりましたが喜んで試乗されつ子ども達の姿を通じて実施して良かったと感じています。
- (3) 上田女子短大の先生が佐久開催しているフェスタに関心をもって連携したいとの話（大北 遠藤コーディネーター）から上田女子短大とシニア大学との昔遊びをテーマとした意見交換会開催そして協力の流れができましたが、実質的には、夏休み期間中でもあり

幼児教育実習が入って参加はできませんでした。

～ 不備な部分もありましたが、概ね良かったのではないかと考えています。上田女子短大との連携も今後も進んでいくと思います。～

2 シニア世代の女性の潜在能力に驚いています。従来からの創作を進めているところもありますが工夫して新たな創作を考えて子ども達にも作りやすいものに変化させていました。廃材を活用したストラップ作り（ハンドくらぶ）、フェルトを使ったバックづくり（糸華会）は人気があり多くの子ども達が集まっていました。

3 改善すべき点や来年に向けてのヒントを貰うことができました。

(1) 「男の子向けの工作がもっとあればよかった」との感想が出ていましたが、フェスタの主体が女性ですのではないかと思います。男性にも積極的に参加していただいて男児が喜ぶ創作（紙飛行機づくり、よく回るコマづくり等）を進めていく必要があります。

(2) 「家では教えられない綾取りをすることができて嬉しかった」とあるように、ここでしかできないことや創作を進めていくべきだと感じました。

(3) 来年に向けて（ヒント）

ブレスレットを作ってみたい！　　すごくよく回るコマをつくりたい！

駒をつくってみたい！　　スイカのキーホルダーをつくってみたい！

じゅず玉のブレスレットを作ってみたい！　　夏を感じるストラップをつくってみたい！

スイカのキーホルダーをつくってみたい！　　風鈴をつくってみたい！

万華鏡などを考えてほしい。　　カゴをつくってみたい！

(4) 図書館等との連携

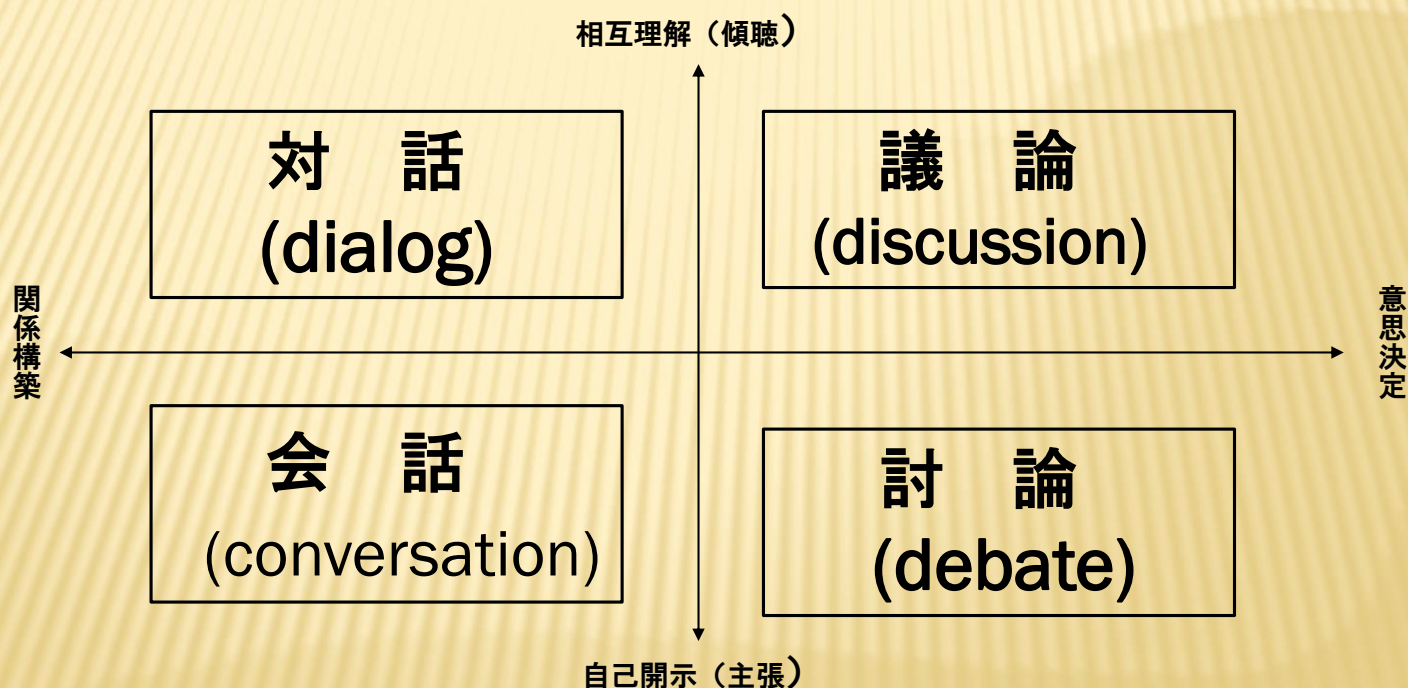
こども未来館に来場される子どもの年齢が小学校低学年以下になってしまっているのが中高生と対話や学びの視点を入れながら図書館とコラボも考えられればと思います。シニア世代にとっても学びの場になるのかと感じます。



～対話を通じて、互いに知り、地域を知り  
一緒に地域の未来を語ろう！～

# 第1回うすだワールドカフェ

今、求められている「対話を通じた場づくり」  
による「関係づくり」



# 対話とは？

$$\text{「対話」} = \begin{array}{|c|} \hline \text{聴く} \\ \hline \end{array} \times \begin{array}{|c|} \hline \text{話す} \\ \hline \end{array}$$

1	9
2	8
3	7
5	5

※聴す  ゆるす

## 「ワールドカフェ」の進め方

- 1 グループ4～6人で構成されてテーブルを複数つくる。
- 2 発問についてテーブルで話し合いを進め、話されたこと、感じたこと、気づいたことを**模造紙に落書きする**。
- 3 20分置きくらいに、**ホスト1名を残して全員席替え**をする。
- 4 新しいメンバー同士で先程まで自分がいたテーブルで話し合われていた内容を**披露しあい、さらに内容を深める**。
- 5 これを時に数回繰り返し、**最後は元のテーブルに戻る**。



# では、対話をはじめましょう！

## □テーマ

あなたは、10年後の臼田をどんな地域にしたいですか？





8  
 ・佐久平総合技術  
 高校ボランティアブ  
 ループ  
 ・白田ブルーの会

7  
 うすだ  
 コスモ苑

6  
 サロン  
 木もれび

5  
 うすだ健康館

4  
 地域通貨  
 について

3  
 えんがわぼっこ

2  
 しあわせ教室

1  
 佐久平総合技術高校  
 お米作り

第1回 うすだワールドカフェ

～対話を通じて、互いを知り、地域を知り、一緒に地域の未来を語ろう!～

地域活動見本市参加グループ



つながろう! ひろげよう!  
 地域の輪

入口





# 親子で 木もれびサロン

子育ての喜び 楽しみ そして悩み やつらさをみんなで 共感し 分かち合える場所をつくりたいと思い始めました。 毎月1回さまざまな活動を取り入れながら 今しかない親子の時間を大切にしています。

**子育て講座** 親子講座 親子講座 親子講座

**10月14日(月)の親子講座**

**親子の時間**

親子で木もれびは現在名スタッフを運営しています 毎月1回に定例的に講師の先生と協賛する方々を招き 親子で通って仲間作りをしております。子育てを通して仲間作りをしております。子育てを通して仲間作りをしております。子育てを通して仲間作りをしております。

**親子で木もれびサロン**

子育ての楽しさを伝える場作り  
子育てを通して仲間作りをできる場作り  
講師の先生、出席者の方々の出会いから今後の活動につなげる場作りをしております。親子で通って仲間作りをしております。子育てを通して仲間作りをしております。子育てを通して仲間作りをしております。

ママは家庭の中心で専業主婦として存在に誇りを感じたい。ママは家庭の中心で専業主婦として存在に誇りを感じたい。ママは家庭の中心で専業主婦として存在に誇りを感じたい。

ママは家庭の中心で専業主婦として存在に誇りを感じたい。ママは家庭の中心で専業主婦として存在に誇りを感じたい。ママは家庭の中心で専業主婦として存在に誇りを感じたい。

# だコスモ苑

## 特養 うすだコスモ苑

**特養とは?**  
特別養護老人ホームは 介護保険制度上で在宅での生活が困難になられた方が対象となる介護老人ホームです

**対象となる方**

- 65歳以上で要介護3以上の方
- 40-64歳で特定疾病が認められれば要介護3以上の方
- 特例により入居が認められた要介護1-2の方

※生活支援の観点であるため医療と学ぶ方は対象としない場合があります。

**ユニット型** と **従来型**

すべて個室を1人程度をひとつのユニットとして介護を行います

4人部屋などの多床室で多くの人数を全体で見ます。

人員の配置基準や費用の違いがあります

**特養うすだコスモ苑の方針**

- 1 本人の思いを尊重した支援  
主役は利用者様との思いで 多職種協働によるチームケアの実現
- 2 地域の拠点施設としての活動  
積極的な地域交流を通し 社会とのつながりを広げます
- 3 人材育成  
一人ひとりが自身の成長姿勢に責任をもてる人材の育成
- 4 労働環境改善のとり組み  
職員の健康障害 離職予防に向けた改善の取り組み

今夜認知力も重点に地域の皆様と共に学んでいきます

相談 見学は随時受付しております







(問い1) 臼田地区が活気づくためには、経済発展が必要か？

地域に活気があるってなんだろう？

1. 人が行きかう
2. モノが行きかう
3. 情報が行きかう

そうすると「お金」が動く。

GDP ↑  
賃金上昇率 ↑



GDPは上がるけど・・・豊かなのだろうか？

お米が豊産国。でも「GDP」は、これまでの生活を存続するための「お米」を消費するだけで、何もかもは消費される。GDPは「お米」になる。

お米を消費してGDPは上がるけど、貧乏の人が増える。GDPは「お米」になる。

お米が売れているから、現金収入が増える。GDPは「お米」になる。

お米でGDPは上がるけど、お米を消費してGDPは「お米」になる。お米以外の価値を消費して、GDPは「お米」になる。

GDPは上がるけど・・・豊かなのだろうか？

消費をこなし、家族と一緒に過ごす時間、くつろぐ時間が無くなると、GDPは「お米」になる。

生産するために、木を伐採し、水も汚し、空気が汚れ、資源が枯渇するとGDPは「お米」になる。

資本主義のシステム

替えがきく  
地球の反対側とでも交換できる



消費者的な人格  
受贈者的な人格  
どっちもある

「自分」が欲しいものを手に入れる

自分指向  
「テイク」のお金の使い方  
「誰か」の仕事を受け取る。

相手指向  
「ギブン」のお金の使い方

豊かさとは  
「受け取る感度」

コミュニケーションの質

「ぶんじ」




お金の効果

1. 交換
2. 保管
3. 増殖



佐久市は・・・  
自然が多く  
「うまい」  
お米が穫れる、お米どころ。  
その理由は、「きれいな水」「澄みきった空気」  
「土が粘土質」なためです。




今、目の前にある佐久の風景を守りたい。

























# 花を通じて地域住民の思いをつなげ住みやすい心通い合う地域を創出しましょう！ 実施報告

## 1 目的(趣旨)

コロナ感染拡大に伴って様々な地域の集まりや行事が中止されています。そのことで人と人のつながりや地域のつながりが薄れています。

ワクチン接種も進みつつありますがコロナ感染症が収束するまでには相当期間が必要であると思われます。

With コロナでコロナ感染予防を徹底しながら工夫して地域の人と人のつながりを基本に地域のつながりを創り出していく様々な試みがなされています。

かつては、佐久病院を中心に商店街には多くの方々が集まる賑やかな地域であり。伝統ある高校、看護学校そして小中学校も点在する医療と学びの地域であり、ゆるくつながりながら確実に自治が行われていました。

令和5年度からは新臼田小学校が出発します。小学校側としては地域の方々に感謝の思いを伝えたい。地域の方々は、新しい出発を祝いたいという思いがあると聞きます。

新校に徒歩で通学する児童も相当数にのぼると聞きます。幹線道路や高速道路を横断して通学することを考えると地域全体で児童等の見守りがますます願われてきます。また、地域で世代を超えながら互いに支え合える地域づくりも願われています。

そんな背景を考慮に入れながら小学校児童と高校生との花を中心とした思いを地域で共有しながら地域の住民のつながりを創り出して住みやすく心通い合う地域を目指して標記イベントを開催します。

今回、佐久平総合技術高等学校からの提案もあって冬を超えて春先まで楽しめる花として葉ボタンの選択しました。



## 2 主催 歴史街道を歩こう会(長野県シニア大学佐久学部卒業生)

## 3 後援 (公財)長野県長寿社会開発センター佐久支部

## 4 協力 佐久平総合技術高等学校 生物環境系列

佐久市立臼田小学校

臼田町商工会事務局

臼田町商工会(上町 中央 中町 荒町支部)

地域住民、臼田支所、臼田交番、長野県シニア大学佐久学部卒業生

## 5 実施内容

佐久市立臼田小学校6年生児童と佐久平総合技術高等学校生物環境系列生徒を中心に臼田町商工会の皆さん、地域住民の方々にも関わって商店街のゴミ拾いを実施し商店街にそれぞれの思いのこもった葉ボタン(プランター)70個商店街を中心に配置します。

プランターには、多様な方々に地域や商店街、住民に対する感謝の思いを書いていたきた立札を立てる予定です。

## 6 実施計画

### (1) 葉ボタン種まき体験交流会

臼田小学校6年生児童、佐久平総合技術高等学校生物環境系列生徒、商店街の皆様、地域住民の皆様、歴史街道を歩こう会、シニア大学卒業生が集まって生徒指導の元、コロナ感染予防を徹底して葉ボタンの種蒔き体験を実施しました。

- ・ 日 時 令和3年7月12日(月) 午前10時30分から正午まで
- ・ 場 所 佐久平総合技術高等学校 農業科実習室
- ・ 参加者 臼田小学校6年生 24名 校長 担任教諭 26名  
佐久平総合技術高等学校 18名 担当教諭 4名 22名  
臼田町商工会4名 一般住民 2名 歴史街道を歩こう会 6名

#### □ 葉ボタン種まき体験交流会のスケジュール

- ・ 交流会開会のあいさつ (高校生)
- ・ 今回の行事の目的(趣旨)について(主催者)
- ・ 葉ボタンについて、植え方のポイントについて 育苗についての注意点等 (高校生)
- ・ 葉ボタン種まき体験
- ・ 交流会  
種まき体験の感想、それぞれの現状、地域や商店街、小学校に対する感謝の思いを参加者全員で共有する。  
① 高校生 ② 商店街代表 ③ 地域住民 ④ 児童代表

※セルトレイの蒔いた葉ボタンの育苗は佐久平総合技術高等学校側をお願いする。  
小学校側に葉ボタンを観察して育てたいとの要望があればポットに移植した苗をお渡しすることを考えています。高校生が小学校に行き育て方について話す場も想定しています。



始まりの会





葉ボタン種まき

交流会









集合写真

## (2)プランターへの定植

小学校、高校で実施。

- ・ 臼田小学校 9月3日(金) 担任教諭を中心に実施。(16プランター)
- ・ 佐久平総合技術高等学校  
10月4日(月) 3年生を中心に実施。(55プランター)

## (3)美化運動と景観美化活動

ゴミ拾いウォーキングと葉ボタンプランターの商店街への設置

臼田小学校児童、佐久平総合技術高等学校生物環境系列生徒、商店街の皆様、地域住民の皆様、歴史街道を歩こう会、シニア大学卒業生が集まってコロナ感染予防を徹底しゴミ拾い、葉ボタン(プランター)を71個設置します。

- ・ 日時 令和3年10月7日(木) 午前9:00~11:00
- ・ 集合 佐久市臼田小学校ロータリー
- ・ 参加者 臼田小学校6年生 24名 教頭先生 担任教諭 26名  
佐久平総合技術高等学校3年生 23名 担当教諭 5名 28名  
臼田町商工会 4名 行政職員 2名 歴史街道を歩こう会 15名  
総計 76名

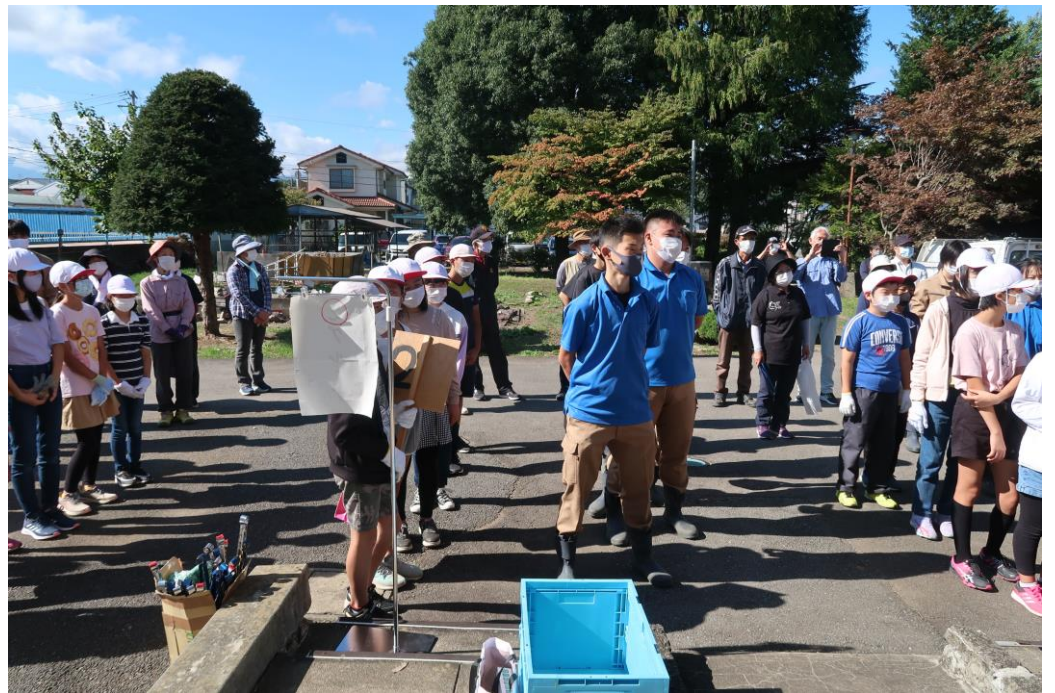
### ・ 内容

- ① 始まりの会 主催者あいさつ 諸注意
- ② ゴミ拾いと葉ボタンプランター設置作業
- ③ ゴミの分別 臼田支所へ
- ④ 終わりの会

児童会長、佐久平総合技術高等学校代表、臼田町商工会代表、地域住民代表校長、主催者あいさつ

※以下に全体の様子を写真で示します。

















児童会長のあいさつ



佐久平総合技術高等学校代表生徒あいさつ

## 【 臼田小学校 6 年生の感想 】

- ・ ゴミ拾いで商店街がきれいになってよかった。葉ボタンをたくさん運んだ。
- ・ 高校生と交流行事がコロナ禍だけできてよかった。
- ・ まちをきれいにしながら佐久平総合技術高等学校の人たちと楽しめてよかった。
- ・ 葉ボタンを運ぶのはとても大変で疲れてしまったときもあったけど、話しながらできてよかった。
- ・ 葉ボタンは6年生が置いて、ゴミ拾いは高校生がやるみたいな感じでしたが、みんなで力を合わせてできたと思います。
- ・ 児童会のスローガンである「感謝」が、地域の人や商店街の人に伝えられて良かったのと、ゴミ拾いをして商店街をきれいにできて良かったです。また、地域のおじいちゃん。おばあちゃんや高校生の人たちと交流できて楽しかった。
- ・ 葉ボタンを商店街に置きながらゴミ拾いをし、高校生と協力しながら、少しでもきれいにし、活気が出たらいいと思いました。
- ・ 地域の方に感謝の気持ちが届いたと思います。
- ・ 葉ボタン設置でみんなが協力しあいながらできてよかった。
- ・ ゴミ拾いで、道路の脇に意外とゴミがあって驚いた。そのゴミを取って、商店街をきれいにするのができてよかった。
- ・ 葉ボタン設置、ゴミ拾いをして商店街が明るく華やかになるといいです。
- ・ いつもお世話になっている商店街の人に葉ボタン設置とゴミ拾いを通して感謝ができて良かったです。設置した葉ボタンが春まで咲いてくれるといいです。
- ・ 高校生と一緒に楽しみながら商店街をきれいにできて、コミュニケーションが取れてよかった。
- ・ 地域の方々に、私達の感謝気持ちがしっかり伝わったと思うので、今回の交流はとても良かったのではないかと思います。
- ・ 地域の人に感謝の気持ちを込めながら葉ボタンを同じ班の人と協力しながらお店の前に置きました。ゴミ拾いウォーキングでは、みんなで隅々までゴミを探しました。高校生や地域の人と交流もできて良かったです。
- ・ 登下校時に気になっていたゴミがあったので、この機会にきれいにできて良かった。それと、お世話になっている人のところのゴミも拾えてよかった。
- ・ ゴミ拾いや葉ボタン設置をして高校生や地域の皆さんとも交流をやりとても楽しかったです。これを気に臼田商店街を通る人達が明るく元気になってもらいたいです。
- ・ 思ったよりゴミが多くて、でも自分ができる限りを尽くしてできて良かった。葉ボタン設置は高校生と協力できて良かったです。
- ・ 葉ボタン設置とゴミ拾いをやって感謝の気持ちをもって葉ボタンを置くことができました。ゴミ拾いは、タバコのゴミなどを取ることができました。高校生の人と協力して葉ボタンを置くことができました。
- ・ ゴミ拾いや葉ボタンの設置で地域の皆さんに感謝や元気を伝えられたと思いました。このような活動ができて良かったです。
- ・ 葉ボタン設置、ゴミ拾いウォーキングをして、僕は葉ボタン、ゴミ拾いをして商店街がきれいになり、そして素敵な商店街にできたと思います。あと、ボランティアの人達と高校生の皆さんとの仲も深まったと思います。
- ・ 葉ボタン設置 ゴミ拾いウォーキングを終えて臼田商店街がきれいになって良かった。臼田キャンパスの人との交流を通して仲良くなった。吸い殻が113本落ちていた。